

## おにぎり通信

## 2014年 6月21日 (土曜) 四ツ谷おにぎり仲間

こんにちは!私たちは毎週土曜日に、四ツ谷周辺と銀座・日比谷公園、東京 まきしゅうへん せいかつ かたがた ほうもん 駅周辺で生活されている方々を訪問しているボランティアグループです。

温室効果ガスの排出が今のペースで増えると、最高気温が30度以上の真夏日が今世紀末に全国平均で年間約50日増える。東京都では現在の48・5日から100日程度に増え、那覇市では1年の半分と倍増する見通し。現状8日の札幌市でも1カ月強が真夏日になる。平均気温は全国平均で4・4度上昇。東京都は現在の約16度から奄美大島並みの20度程度に"亜熱帯化"する見込み。

こんな予測がさきごろ環境省から発表されました。東京で1年のうち三分の一近くが真夏日になると聞くと、末恐ろしいですね。

 (6月9日 福祉行動報告)

 A さん (60代) 生活相談のため中央福祉へ行かれました。



**次回の福祉行動:6月23日 (月)**。 東京駅丸の内北口地下・喫煙所脇の車輪のところに朝8時 30 分までに集合です。

病院に行きたい方や、体を休めたい方と一緒に「福祉事務所」や「聖イグナチオ生活相談室」まで、ボランティアが同行いたします。福祉行動は原則として毎週月曜日です。福祉行動は参加されるそれぞれの方が、ご自身の希望をご自身の言葉でハッキリと伝えることにより成り立ちます。

もより 最寄の福祉事務所ほか

2020年の東京オリンピックのメインスタジアムとして建て直される新国立競技場の計画が、規模やデザインをめぐって物議をかもしています。あまり知られていませんが、新国立競技場の建設計画によって、すでに立ち退きを余儀なくされている住民がいます。明治公園に隣接する、都営の「霞ヶ丘アパート」です。新国立競技場の拡幅にともなって、現在の明治公園が霞ヶ丘アパートの敷地に移設されるため、玉突き式に霞ヶ丘アパートは廃止となり、ここの住民がほかの3つの都営アパートに移住させられることになったためです。霞ヶ丘アパートは約230世帯・約370人が暮らしていましたが、すでに数十世帯が転居し、残る150世帯も順次転居させられることになっています。住民のほとんどが高齢者です。

それだけではなく、国立競技場の外壁脇に寄り添うように 10 張りほどのテントで暮らしていた人たちも、7月から予定されている解体工事を前に、すでに排除されています。都の役人から「居られてもあと2年だからね」と以前から立ち退きを匂わされていました。このテントの住民のなかにはここで生活を始めて 10年になる人もいたそうです。

いまやオリンピックなどのスポーツイベントを大義名分にした老朽化した建物の 取り壊しや住民の立ち退き、路上生活者の排除はどこの開催都市でもあたりまえの ことになっています。さらに、オリンピック施設とは関係のない公園や公共空間などでも、多くの外国人が来日するので退去せよとの強制力が働くことも考えられます。サッカーのワールドカップで沸き返るなか、そんなことを考えさせられました。



おにぎりを包んでいるラップや読み終わった通信は放置せずに、ゴミ 箱に入れるなどして片付けにご協力をお願いいたします。おにぎりは かならずその日のうちにお召し上がり下さい。一人でも多くの方に召 し上がっていただくため、おにぎりは一人一個でお願いいたします。

四ツ谷おにぎり仲間 連絡先: 090-4959-0652 岩田